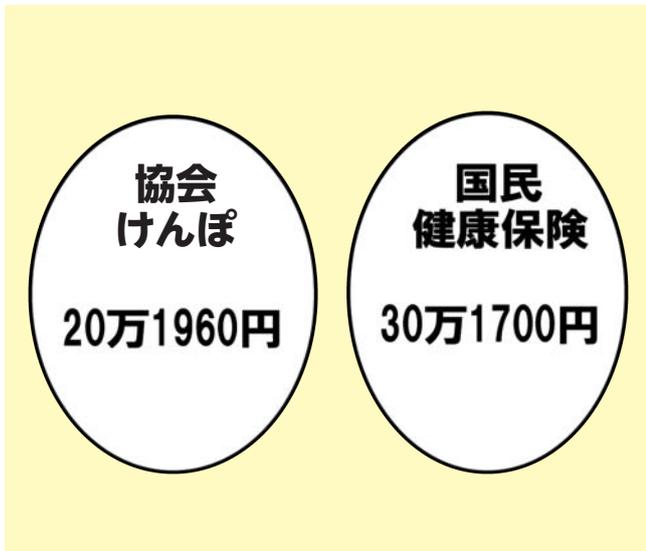


高すぎる国民健康保険税の値下げを

加藤 敏彦議員



国の方針を見据えながら、できることを
市長



▲国民健康保険と協会けんぽの保険料の比較
(30歳夫婦と子ども2人、給与年収400万円の場合)

問 日本共産党は、高すぎる国民健康保険料を引き下げて、誰もが安心して医療を受けることができる公的医療保険として立て直すための提案を発表した。

国民健康保険中央会会長の岡崎誠也・高知市長は国保制度を維持していくには、「もっと公費支援が必要だ」と国に求めている。

答 今年度の国民健康保険税額で、30歳代の夫婦と子ども2人、年収400万円の場合で、固定資産税がない場合、国保税は年額30万1700円になる。協会けんぽは年額20万1960円で、国保のほうが9万9740円高くなる。

問 国保税の軽減に対して、全国知事会が政府に1兆円の負担を求めているが、どのくらいの軽減になるか。

答 1世帯当たりでは約5万4000円、1人当たりでは約3万4000円になる。

問 県はかつて国保に28億円を繰り入れていた。どれくらいの軽減になるか。

答 1世帯当たりでは約28000円、1人当たりでは約17000円になる。

問 国保には子どもに対する特別調整交付金があるが、いくらあるのか。どれだけ軽減されるか。

答 平成30年度の交付予定額は754万4000円で、20歳未満の1人当たり約5000円となる。

問 国保を維持するため公費支援の拡充について、市の考えを伺いたい。

国保の課税方式の見直しについて、市の方針、計画はどうなっているか。

その他の質問

●古瀬町、諏訪町、測高町の歩道の整備は

答 国としてどのような方針でやっていくのかというところを見据えながら、できることをやっていかなければならないと考えている。

見直しの件については、国民健康保険運営協議会で協議をしている。31年度に税率を含めて検討していきたい。